



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月29日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長C00 (氏名) 成川 敦  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 山本 有三 TEL 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	21,860	18.3	△511	—	△345	—	△857	—
2021年3月期第1四半期	18,480	△32.9	△507	—	△518	—	△791	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 202百万円 (-%) 2021年3月期第1四半期 △1,310百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△38.53	—
2021年3月期第1四半期	△34.89	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	78,256	55,962	64.3	2,262.88
2021年3月期	77,233	55,993	65.6	2,276.20

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 50,341百万円 2021年3月期 50,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	5.6	1,000	—	1,000	356.3	300	—	13.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	25,000,000株	2021年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	2,753,447株	2021年3月期	2,752,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	22,246,553株	2021年3月期1Q	22,692,978株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)における世界経済は、ワクチン接種の普及や各国政府の施策により先進国を中心に回復力が高まってきました。一方、ワクチン接種が遅れている新興国・途上国では新型コロナウイルスの拡大により、外出禁止措置が実施されるなど不透明な状況が続きました。

電子部品業界において、特に当社グループが注力する自動車関連市場では、世界的な半導体チップ不足による影響を抱えつつも、自動車生産の回復とともに部品需要は回復基調にて推移しました。また、脱炭素への取り組みが世界的に本格化し電気自動車の開発加速に伴う電子部品の中長期需要に対する期待は高まりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が自動車販売の回復に伴い前年同期比で増加しましたが、利益面では、昨年度から続く輸送コスト増に加え、原材料費・部材費の高騰、東南アジアでの新型コロナウイルス感染再拡大に伴う工場稼働率の低下やサプライチェーンの混乱等の影響を大きく受けました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、21,860百万円(前年同期比18.3%増)と増収となりましたが、損益面は、営業損失が511百万円(前年同期は営業損失507百万円)、経常損失が345百万円(前年同期は経常損失518百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、857百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失791百万円)となりました。

こうした中、当社グループは中期事業計画のもと、車載関連事業での強固たる地位の構築に向け取り組みました。中国ローカル自動車メーカの受注獲得を目的とする関係会社の設立を決定し、また、当社の基幹材料であるマグネットの安定調達に向け、中国大手マグネットメーカとベトナムでの合弁会社設立を決定しました。

これらの施策は今後の当社グループの成長に寄与するものと期待しています。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### [スピーカー事業]

コロナ禍からの世界的な自動車販売の回復を背景に、売上高は16,553百万円(前年同期比55.9%増)となりました。損益面では、コンテナ船運賃をはじめ輸送コスト増が続いたことに加え、原材料費・部材費の高騰や生産拠点でのコロナ影響による稼働率の低下等から、営業損失が279百万円(前年同期は営業損失448百万円)となりました。

#### [モバイルオーディオ事業]

新製品のアクチュエータは好調な出荷となりましたが、スマートフォン同梱用ヘッドセットの販売が終息に向かっていることから、売上高は3,508百万円(前年同期比47.1%減)、営業損失は、323百万円(前年同期は営業利益6百万円)となりました。

#### [その他事業]

「フォステクス」ブランドの製品を含むその他は、自動車販売の回復を受け小型音響部品事業が堅調に推移したため、売上高は1,947百万円(前年同期比47.4%増)、営業利益は91百万円(前年同期は営業損失65百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に棚卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ1,023百万円増加して78,256百万円となりました。負債は、主に短期借入金増加により前連結会計年度末に比べ1,054百万円増加して22,294百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ30百万円減少して55,962百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比1.3ポイント減の64.3%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより18,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,720百万円減少しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、棚卸資産等の増加により2,351百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により228百万円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金等の増加により658百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2021年5月17日の決算短信で公表しました通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	15,470	18,556
受取手形及び売掛金	16,768	16,165
電子記録債権	177	406
有価証券	5,622	385
製品	11,517	13,350
原材料	5,656	6,814
仕掛品	1,159	1,472
貯蔵品	147	187
未収入金	831	733
その他	1,721	1,912
貸倒引当金	△32	△38
流動資産合計	59,040	59,947
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	6,758	6,787
機械装置及び運搬具（純額）	4,594	4,602
工具、器具及び備品（純額）	1,533	1,642
土地	1,442	1,460
建設仮勘定	883	741
有形固定資産合計	15,213	15,234
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	69	73
その他	119	123
無形固定資産合計	189	196
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,482	1,493
長期前払費用	83	73
退職給付に係る資産	791	877
繰延税金資産	199	200
その他	234	233
投資その他の資産合計	2,790	2,877
固定資産合計	18,193	18,309
資産合計	77,233	78,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,735	8,969
短期借入金	2,556	3,719
1年内返済予定の長期借入金	1,528	1,528
未払金	2,768	2,564
未払法人税等	301	384
未払費用	1,719	1,731
賞与引当金	362	303
その他	766	752
流動負債合計	18,738	19,953
固定負債		
長期借入金	1,118	875
繰延税金負債	588	594
退職給付に係る負債	74	77
役員退職慰労引当金	16	17
株式給付引当金	146	155
資産除去債務	254	255
その他	301	364
固定負債合計	2,501	2,341
負債合計	21,239	22,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	41,299	40,330
自己株式	△4,129	△4,129
株主資本合計	50,837	49,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298	303
為替換算調整勘定	△82	493
退職給付に係る調整累計額	△414	△324
その他の包括利益累計額合計	△198	473
非支配株主持分	5,354	5,621
純資産合計	55,993	55,962
負債純資産合計	77,233	78,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	18,480	21,860
売上原価	16,508	19,213
売上総利益	1,972	2,647
販売費及び一般管理費	2,479	3,158
営業損失(△)	△507	△511
営業外収益		
受取利息	43	16
受取配当金	9	8
為替差益	—	82
雑収入	69	120
営業外収益合計	122	228
営業外費用		
支払利息	21	20
為替差損	19	—
雑損失	93	42
営業外費用合計	133	63
経常損失(△)	△518	△345
特別損失		
特別退職金	85	324
特別損失合計	85	324
税金等調整前四半期純損失(△)	△604	△669
法人税、住民税及び事業税	140	106
法人税等調整額	△44	△29
法人税等合計	96	76
四半期純損失(△)	△700	△746
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	110
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△791	△857

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△700	△746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	5
為替換算調整勘定	△539	855
退職給付に係る調整額	△105	87
その他の包括利益合計	△609	948
四半期包括利益	△1,310	202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,180	△185
非支配株主に係る四半期包括利益	△129	387



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△604	△669
減価償却費	781	763
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	32	△85
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△0	4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△155	△59
特別退職金	86	324
受取利息及び受取配当金	△53	△25
支払利息	21	20
為替差損益(△は益)	60	51
売上債権の増減額(△は増加)	△196	391
棚卸資産の増減額(△は増加)	757	△3,348
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,748	232
未収入金の増減額(△は増加)	231	97
未払金の増減額(△は減少)	△500	△204
その他	△423	395
小計	△1,711	△2,103
利息及び配当金の受取額	53	25
利息の支払額	△21	△20
特別退職金の支払額	△86	△181
法人税等の支払額	△543	△71
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,309	△2,351
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△800	△186
有価証券の償還による収入	297	624
投資有価証券の取得による支出	—	△0
有形固定資産の取得による支出	△732	△575
無形固定資産の取得による支出	△2	△73
長期前払費用の取得による支出	△8	△6
その他	△0	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,246	△228
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	681	1,129
長期借入金の返済による支出	△870	△243
配当金の支払額	△342	△111
非支配株主への配当金の支払額	△159	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△691	658
現金及び現金同等物に係る換算差額	△375	201
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,622	△1,720
現金及び現金同等物の期首残高	23,930	20,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,307	18,653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

なお、当該会計基準の適用が当四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44号-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準の適用が当四半期連結財務諸表に及ぼす影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,619	6,633	1,227	18,480	—	18,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	93	93	△93	—
計	10,619	6,633	1,321	18,574	△93	18,480
セグメント利益又は損失(△)	△448	6	△65	△507	△0	△507

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,553	3,508	1,798	21,860	—	21,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	149	149	△149	—
計	16,553	3,508	1,947	22,009	△149	21,860
セグメント利益又は損失(△)	△279	△323	91	△511	△0	△511

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。